

平成 29(2017) 年度入学者のための

筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科  
外国人留学生特別選抜学生募集要項

〔 指定校推薦により大学院学生を募集する外国人留学生特別選抜 〕

博士前期課程第 1 年次（10 月）入学  
国際日本研究専攻

平成 29 年 1 月 5 日  
筑波大学

### 1. 出願資格

「国際学術協定を利用した推薦制度による筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科外国人留学生特別選抜」に基づき派遣される大学院学生を対象とし、学士の学位を有する者、又は平成 29(2017)年 9 月までに有する見込みの者とします。

(出願にあたっての留意事項)

本特別選抜に合格した場合の入学の時期は、平成 29 年 10 月 1 日となります。

### 2. 募集する専攻・募集人員等

専攻	区分	募集人員	入学時期	備考
国際日本研究	博士前期課程第 1 年次入学	若干名	平成 29 年 10 月 1 日	

国際学術協定先

ベトナム教育訓練省ホーチミン市師範大学日本語学部
--------------------------

### 3. 出願書類等

下記摘要欄及び願書等記入例を参照し記入のうえ、提出してください。

	書類等	提出該当者	摘要
1	入学願書	全員	所要事項を記入し、提出してください。必ずメールアドレスを記入してください。
2	外国人出願者用履歴書	全員	所要事項を記入し、提出してください。
3	受験票・写真票 机上受験票	全員	所要事項を記入し、写真(出願前 3 か月以内に撮影した無帽上半身正面のもので、大きさは縦 4cm×横 3cm、同一の写真を使用)をはって提出してください。
4	卒業(見込)証明書	全員	本学大学院への出願資格を満たす大学の卒業(見込)証明書を提出してください(通常は学士の学位を取得した大学(学部・学群))。 注)修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。
5	成績証明書	全員	① 本学大学院への出願資格を満たす大学の成績証明書を提出してください。(通常は学士の学位を取得した大学(学部・学群))。 注)修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。 なお、編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出してください。 ② 大学院修了者(修了見込みの者を含む。)は、大学院における成績証明書も提出してください。
6	研究計画書	全員	【国際日本研究専攻】(様式任意) 入学後に研究しようとしている内容及びその計画について、氏名、研究題目及び希望指導教員名を明記して提出してください。 様式任意、A4判、縦置き、横書き、4,000 字以内。 英語または日本語(A4判2枚以内)。

	書類等	提出該当者	摘要
7-1	論文等	全員	各自用意する封筒に「7-4 論文等用シート」をはり付けて、この封筒に「7-2 論文等 題目票」を添付した 次のいずれか(論文等)を入れた後、出願書類提出用の封筒に他の出願書類と同封して提出してください。 ① 卒業論文(写し可)又は修士論文(写し可) 上記論文が出願時に提出不可能な場合は、それに準ずる論文 ② 昨年度以前の卒業者は、新しい論文(写し可)をもって①に代えることができません。 ③ 卒業論文又は修士論文を課せられていない者は、それに準ずる論文
7-2	論文題目票	全員	所要事項を記入し、提出する論文等すべての表紙に添付してください。(複写可)
7-3	論文等要旨 (様式任意)	該当者	日本語又は英語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、日本語(2,000 字程度)又は英語(1,000 語程度)の要旨を、論文等を入れる封筒に同封し提出してください。
7-4	論文等用シート	全員	所要事項を記入し、論文等を入れる封筒に貼付してください。
8	推薦書 (様式任意)	全員	所属大学(出身大学)の日本語文系主任による推薦書(日本語または英語)を提出してください
9	宛名シート①	全員	所要事項を記入し、提出してください。 合格者に合格通知書等を送付する際に使用します。
10	宛名シート②	全員	所要事項を記入の上、出願書類は全てを入れた封筒(各自用意)にはって、郵送(書留速達)してください。

※出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務に利用します。

#### 4. 検定料

30,000 円(国費外国人留学生を除く。)

所定の金融機関等からの払い込みとなります。

##### ① 払込期間

平成 29 年(2017 年)6月1日(木)から、出願期間に間に合うよう払い込みください。

##### ② 払込方法

以下の本学ホームページを参照し、クレジットカード(VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS)により払い込んで下さい。

<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/shiharai.html>

※上記ホームページでの支払い手続完了後、Receipt Number が記されたResultページが表示されますので、紙に出力のうえ「3.出願書類等」の「1 入学願書」にホチキス留めして提出して下さい。提出がない場合は、出願書類を受理しません。

#### 5. 出願方法

- (1) 入学志願者は、出願書類を取りそろえ、以下の出願先に、出願期限までに送付してください。  
あわせて、Eメールでも出願書類を送信してください。その際、ファイル名は「指定校推薦(国際日本研究専攻)(出願者氏名)」としてください。

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1  
筑波大学 人文社会エリア支援室 大学院教務  
E-mail:jinsyainkyomu@un.tsukuba.ac.jp

- (2) 出願期限:平成29(2017)年6月14日(水)まで必着とします。

- (3) 出願書類を受理したときは、Eメールで試験場等の詳細を通知します。

## 6. 選抜方法

出願書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、入学候補者を決定します。

## 7. 学力検査日程・試験科目等

次のとおり実施します。試験科目は、〔出願時選択〕に注意してください。

### 国際日本研究専攻(博士後期課程)

専攻	月日	2016年6月26(月)～6月30日(金)
	科目	口述試験(200点)
	時間	8:30～17:00(9:30～18:00 日本時間)
国際日本研究	研究内容及び研究計画に関して個別に面接を実施する。(注) テレビ会議システムを使用する。	

(注)

出願の際に、「国際日本複合研究」、「国際日本社会科学」、「国際日本人文科学」、「日本語教育学」から希望する学位プログラムを選択してください。

### ○ 学力検査等の試験場

ベトナム教育訓練省ホーチミン市師範大学日本語学部 (280 An Duong Vuong Phuong 4, Quan 5, Ho Chi Minh City, Vietnam)

(注) 詳細については、出願書類等を受理後、Eメールで通知します。

## 8. 合格者の発表

平成 29(2017)年7月7日(金)。合格者には、合格通知書(授業料等免除申請の取扱いを含む)を送付します。

## 9. 入学手続

(1) 合格者には、入学手続き案内(入学に際して必要な提出書類が同封されています)を送付しますので、これにしたがって手続きをとってください。なお、そのさい有職者(非常勤、アルバイトを除く)については、任命権者が発行する書類(研修命令書、休職証明書、就学承諾書等のいずれか)をあわせて提出してください。

(2) 入学に必要な経費

① 入学料 282,000 円

② 授業料 第2期分(10月～3月分)267,900円(さらに次年度に平成30年度納付金(4月～3月分)535,800円の納付が必要となります)

注1) 入学時または在学中に学生納付金の改定がおこなわれた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

注2) 国費外国人留学生は入学料と授業料の納付を免除されます。

入学手続き時までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

## 10. 受験についての注意事項等

- 1) 提出書類の不足、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理しないことがありますので、提出前によく確認してください
- 2) 出願後の志望研究科又は専攻の変更は認めません。
- 3) 出願書類は、返還しません。

## 11. 募集要項に関する問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、下記に照会してください。

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1  
筑波大学 人文社会科学エリア支援室 大学院教務  
E-mail: jinsyainkyomu@un.tsukuba.ac.jp  
取扱日及び時間: 月～金曜日の9時～17時  
〔ただし、休日(国民の祝日、振替休日)を除く。〕

# 大学院博士課程研究科の概要

研究科案内

人文社会科学研究科

本研究科は、人文社会科学の基礎・基盤研究を深化させるべき優れた能力を有し、かつ人文社会分野の学問的進展や社会的要請の変化に応え得る独創性と柔軟性を併せ持つ研究者・教育者、高い実務能力を有する高度専門職業人の養成を目的としています。

この目的のため、本研究科には、哲学・思想専攻、歴史・人類学専攻、文芸・言語専攻(以上5年一貫制博士課程)、現代語・現代文化専攻、国際公共政策専攻、国際日本研究専攻(以上前・後期区分制博士課程)、国際地域研究専攻(修士課程)、の7専攻が設置されています。

哲学・思想専攻、歴史・人類学専攻、文芸・言語専攻及び現代語・現代文化専攻は、人文科学分野における高い水準の研究者・教育者の養成をおこないますが、同時に、5年一貫制の3専攻と区分制の1専攻の併存により、学び方と進路を選択できるようになっています。

国際公共政策専攻は区分制をとり、社会科学分野の高度な専門性と現代社会のニーズの変化に柔軟かつ先鋭に対応できる研究・教育の場を提供しています。

修士課程としての国際地域研究専攻と前・後期区分制博士課程としての国際日本研究専攻は、グローバル化に伴う多様な現象に対応した現代の諸問題を国際的・学際的観点から捉え深める研究・教育を進めています。

また、以上の各専攻における教育カリキュラムのほか、教育研究を支援する課外プログラムとして、IFERI インターフェアカルティ教育研究プログラム新領域プログラム(IFERI)、PEPP(Master's Program in Economic and Public Policy)、日本語教師養成プログラムを設け、修了者にはプログラム修了証を授与します。

専攻の概要

平成 20 年に新設された国際日本研究専攻は平成 27 年度から博士前期・後期課程となり、教育内容が拡充され、4つの学位プログラム(国際日本複合研究学位プログラム、国際日本社会科学学位プログラム、国際日本人文科学学位プログラム、日本語教育学学位プログラム)を設ける。体系的なコースワークを通じて、現代日本の特質を解明するための幅広い専門的領域と俯瞰的なものの見方を修得する。国際日本複合研究の学融合型の特色を強めながら、社会科学、人文科学、日本語教育学のディシプリン型のプログラムも設け、複雑化する日本を中心とする現代国際社会の諸課題に対し、専門的能力を活用する問題解決型・実践型的能力を養う。旧国際日本研究専攻の成果や教育・研究上の蓄積を引継ぎつつ、新国際日本研究専攻は早期修了制度、社会人入学制度、昼夜開講制度などの新たな制度を導入し、日本から世界に向けて新たな融合学際型の教育・研究システムを展開する。

## 人文社会科学研究科教員研究分野一覧

＜国際日本研究専攻＞【博士前期課程】

研究分野※1	教員名	研究内容
国際日本複合研究	明石純一	移民・難民研究、国際人口移動論、グローバルガバナンス
	井出里咲子	コミュニケーション論、人類学
	大友貴史	国際政治理論、国際安全保障
	巖 錫 仁	哲学・倫理学、韓国と日本を中心とした東アジアの思想・文化、漢字文化論、家庭教育論
	海後宗男	ネットワーク社会論、情報メディア論、メディア・コミュニケーション論
	佐藤貢悦	哲学・倫理学、東アジアの思想と文化、漢字文化論
	柴田政子	比較教育、歴史教育、教育社会史
	白戸健一郎	メディア史、東アジアのメディア文化論、放送文化論
	高木智世	会話分析、相互行為分析
	田中洋子	世界経済史、比較歴史分析、比較労働・社会政策
津城寛文	日本の精神文化、比較宗教学	

	辻 中 豊	世界の市民社会の比較、現代日本政治、比較利益集団政治、比較政策ネットワーク、比較外国ロビー、NGO-NPO 論
	仲 田 誠	情報社会論、情報社会病理論、マス・メディア論、メディア文化論、臨床社会心理学、情報倫理、ロボット倫理
	潘 亮	戦後日本外交、現代日本政治外交史、日本の国連政策、戦後日米関係史
	平 石 典 子	比較文学(ヨーロッパ世紀末文学、日本近・現代文学)
	平 山 朝 治	日本文化と経済思想
	許 明 子	日本語教育学、文法論、対照言語学、言語行動論
国 際 日 本 学 社 会 科 本 学	明 石 純 一	移民・難民研究、国際人口移動論、グローバルガバナンス
	大 友 貴 史	国際政治理論、国際安全保障
	柴 田 政 子	比較教育、歴史教育、教育社会史
	高 橋 秀 直	金融論、金融史
	田 中 洋 子	企業・労働史、比較歴史分析、ドイツ経済史・経済論
	崔 宰 英	計量社会科学、計量政治学(比較分析)、調査方法、数理解析、都市・交通計画/政策、交通需要分析
	辻 中 豊	世界の市民社会の比較、現代日本政治、比較利益集団政治、比較政策ネットワーク、比較外国ロビー、NGO-NPO 論
	仲 重 人	日本社会と公共経済、日本社会と公共選択
	根 本 信 義	法と国際社会
	潘 亮	戦後日本外交、現代日本政治外交史、日本の国連政策、戦後日米関係史
	平 沢 照 雄	現代日本経済史、地域経済・産業史、中小企業論
	福 住 多 一	ゲーム理論、進化ゲーム理論、行動ゲーム理論
	宮 坂 涉	古代ローマ法、民法、西洋法制史、法と国際社会
国 際 日 本 学 人 文 科 本 学	今 泉 容 子	文学と映画、映画研究、日本映画、アジア映画、欧米映画、英語圏文学、比較文化論、ジェンダー研究
	巖 錫 仁	哲学・倫理学、韓国と日本を中心とした東アジアの思想・文化、漢字文化論、家庭教育論
	海 後 宗 男	ネットワーク社会論、情報メディア論、メディア・コミュニケーション論
	佐 藤 貢 悦	哲学・倫理学、東アジアの思想と文化、漢字文化論
	白 戸 健 一 郎	メディア史、東アジアのメディア文化論、放送文化論
	津 城 寛 文	日本の精神文化、比較宗教学
	仲 田 誠	情報社会論、情報社会病理論、マス・メディア論、メディア文化論、臨床社会心理学、情報倫理、ロボット倫理
	平 石 典 子	比較文学(ヨーロッパ世紀末文学、日本近・現代文学)
	平 山 朝 治	日本文化と経済思想
日 本 語 教 育 学	井 出 里 咲 子	コミュニケーション論、人類学
	今 井 新 悟	日本語教育学、認知言語学、言語テスト
	小 野 正 樹	日本語を中心とした語用論研究、日本語教育学

	加納 千恵子	日本語教育学、漢字語彙教育、教育方法論
	木戸 光子	日本語教育学、文章論、作文教育
	酒井 たか子	日本語教育学(日本語能力の評価、聴解教育、話芸を利用した日本語教授法)
	関崎 博紀	日本語教育学、会話の分析
	高木 智世	会話分析、相互行為分析、相互行為言語学
	ブッシュネル ケード	エスノメソドロジー的会話分析、社会文化的学習論、日本語教育学
	許 明子	日本語教育学、文法論、対照言語学、言語行動論

## 入学願書等記入上の注意

1. 入学願書に記入した氏名、生年月日、性別は、基本データになりますので正確に記入してください。
2. 入学願書は、複数の専攻で共通に使用できるように作成されています。  
したがって、専攻によっては該当しない受験科目欄が設けられている場合がありますので、各専攻の指示に従い該当する欄のみ記入してください。
3. ※欄は記入しないでください。
4. 研究科・専攻コードは、次の該当するコードを記入してください。

研究科名	コード	専攻名	コード
人文社会科学	8エ	国際日本研究	F

5. 改姓年月及び旧姓欄は、婚姻等により出願書類(成績証明書など)と氏名が異なる場合に記入してください。
6. 本人以外の連絡先欄は、本人と連絡のとれる者を記入してください。
7. 志望研究科・専攻名は、募集要項(2頁)で明記している研究科・専攻名を記入してください。
8. 志望研究分野は、志願者全員が、国際日本研究専攻が開設する4つの学位プログラムの中から希望するプログラムを一つを選んで記入してください。
9. 受験特別措置欄は、障害のある者で、受験の際に特別な配慮を許可された者は「要」に○を付してください。  
それ以外の者は「不要」に○を付してください。
10. 出願資格審査欄は、募集要項に明記している出願資格認定審査に提出する者は「要」に○を付してください。  
それ以外の者は「不要」に○を付してください。
11. 出願資格欄は、該当する出願資格に応じて修了した(修了見込みの)学校名等を記入してください。
12. 入学願書提出後、連絡先が変更になった場合には、直ちに申し出てください。



＜各専攻別記入例＞

〈国際日本研究専攻〉

志望研究科名・研究科コード			志望専攻名・専攻コード		志望研究分野（学位プログラム）
人文社会科学研究科	8	エ	国際日本研究 専攻	F	<b>国際日本複合研究</b>
受験科目	外国語等		専門科目		口述試験
	/		/		面接
	/		/		

国際日本研究専攻が開設する4つの学位プログラムについて(参考)

**国際日本複合研究学位プログラム**

人文科学と社会科学の複合的視点から、現代日本、日本文化・社会、歴史の特質とその背景を解明する能力を養う。分野融合・学際的な視点から、日本研究について新分野の開拓に貢献できる能力を養う。

**国際日本社会科学学位プログラム**

政治、国際政治、経済、法律、教育、国際関係学の社会科学の視点から、現代日本の実像と特質を解明する能力を養う。社会科学の学際的な視点から、現代日本研究に関する新分野の開拓に貢献できる能力を養う。

**国際日本文科学学位プログラム**

思想、文化、文学、社会学、メディア、情報等の人文科学の視点から、日本文化・社会、歴史の特質とその背景を解明する能力を養う。人文科学の学際的な視点から、日本の思想、文化、文学、メディア、情報など新分野の開拓に貢献できる能力を養う。

**日本語教育学学位プログラム**

言語習得、教材開発、評価、会話分析など日本語教育の視点から、日本文化・社会など諸分野において、その実像と特質を解明する能力を養う。学際的な視点から日本語教育研究に関する新分野の開拓に貢献できる能力を養う。